

アンケート結果報告書

平成23年度

香芝市議会決算特別委員会傍聴者アンケート
(職員・係長版)

平成23年10月

奈良県香芝市議会

まえがき

香芝市議会では地方議会における物事の決定する過程が、密室や談合による決定を排除し、オープンな場で全てが審議され、また市民や職員、また誰もが審議状況と採決行動が確認できることを本質とし、最重要課題として取り組んでまいりました。

これらの目的は、マスコミを始め一般市民の皆様、世論で問題視される議員の行動の変容と、議員の資質向上にあり、それらの課題を解決されるためには、世間に簡易に公開され、評価を受けるシステム作りが求められます。議会改革等の書籍等では、地方議員の行動の問題点の一部の例として、「質疑内容」、「審査過程」、「政策立案能力」、「密室性」等、その他多くの問題点が指摘されております。

香芝市議会では、これらの問題の把握と解決策の一環として、平成23年9月定例議会において「決算特別委員会」の審査を少しでも多くの方にご覧いただく為に土曜日、日曜日の大会議室にて市制施行20周年記念事業の開催とし、現在の香芝市議会の審議能力等の確認いただきました。また行政の実務実行の第一人者として、職員の係長全員（65名）に傍聴のご参加を願い、行政が行う事業内等の理解度をはじめ、議会と議員の資質の評価を含めたアンケートの協力をもとに回答をいただきました。

香芝市議会としては、このアンケートの回答による結果に対し、ご協力をいただきました皆様へのフィードバックの必要性から、厳しい視点から分析を行い、また結果を真摯に受け止め、市民の皆様から求められる議員本来の行動に変容しなければなりません。更に市民生活に直結する予算をはじめとする各議案の決定に関し、厳格な審査が求められ、レベルの低い審査は許されないことを深く理解し、更なる研鑽をしてまいる所存でございます。

最後に、アンケート調査にご協力いただきました皆様に、心から深く感謝申し上げます。

平成23年10月
香芝市議会議長 川田 裕

目次

1	まえがき	1
2	アンケート調査の概要	2
3	アンケート集計結果概要	
1	アンケート結果・全体	3
2	所属別の回答結果	4
3	議員の評価分布	5
4	各部署からの評価分布	
5	議会の参加意識における相関関係	
6	議会評価の設問における相関関係	
7	議会・議員の改善度	
8	設問11の自由意見における分布分析	6
9	分散分析と多重比較検定	
10	クラスター分析（類似度と距離）	
11	まとめ	
4	アンケート集計結果・資料編	7～15

アンケート調査の概要

1 調査目的

職員の議会への参加意識、議会運営及び議員の審議能力を把握する。

2 実施期間

平成23年9月13日（火）～9月22日（木）

3 実施方法

調査対象：香芝市職員（係長全員＝65名）

調査方法：回答者の特定を不可とする目的から、アンケート用紙と封筒を同時に配布し、各所属部長が閉封回収の上、議会事務局に提出のもと回収を行った。

4 回収状況

区分	人数	%	配布数	回収率%
総務部	15	23.08	15	100
都市建設部	12	18.46	12	100
市民生活部	10	15.38	10	100
保健福祉部	13	20.00	13	100
教育委員会	10	15.38	10	100
企画部	5	7.69	5	100
Total	65	100	65	100

※総務部には、会計・行政委員会を含みます。

※小数点第2以下を四捨五入のため、合計が合わない場合があります。

アンケート集計結果概要

1 アンケート結果：全体

■職員に関する設問

- ・設問1：所属
職員の係長の所属分布は、総務部15名（23%）、都市建設部12名（19%）、市民生活部10名（15%）、保健福祉部13名（20%）、教育委員会10名（15%）、企画部5名（8%）であった。
- ・設問2：年齢
職員の係長の年齢分布は、40歳代が20%、50歳代が80%であった。
- ・設問3：決算特別委員会を傍聴して、自分自身に参考になりましたか？
傍聴の参考度は、すごくなった28名（43%）、なった35名（54%）、どちらでもない1名（2%）、ならなかった1名（2%）と、参考になる度合いが97%と高い回答であった。
- ・設問4：傍聴する機会は必要だと思いませんか？
議会を傍聴する必要性は、すごく必要8名（12%）、必要49名（75%）、どちらでもない7名（11%）、必要ない1名（2%）と、必要性があるとの回答は87%と高く、関心度が高い結果であった。
- ・設問5：将来、答弁者として参加したいと思いませんか？
すごく参加したい2名（3%）参加したい11名（17%）、どちらでもない32名（49%）、参加したくない18名（28%）、全く参加したくない2名（3%）の回答であり、やや参加希望が少ない結果であった。

■議会・議員に関する設問

- ・設問6：議員の質疑は解りやすかったですか？
とても解りやすい0名（0%）、解りやすい12名（18%）、どちらでもない38名（58%）、解りにくい14名（22%）、とても解りにくい0名（0%）、回答なし1名（2%）と、やや議員の質疑が解りにくい結果であった。
- ・設問7：質疑のレベルは如何でしたか？
とても高い0名（0%）、高い13名（20%）、どちらでもない39名（60%）、低い7名（11%）、とても低い0名（0%）、回答なし6名（9%）と中間的回答が半数以上を占めた。
- ・設問8：議員の質疑を聞いて、市の事業への理解度はどのように感じましたか？
よく理解できている0名（0%）、理解できている42名（65%）、理解できていない17名（26%）、全く理解できていない1名（2%）、回答なし6名（8%）と理解度はやや高い回答であった。
- ・設問9：決算審査の質疑になっていましたか？
すごくなっていた0名（0%）、なっていた32名（49%）、わからない25名（38%）、なっていない7名（11%）、全くなっていない0名（0%）、回答なし1名（2%）と、やや理解できている回答であった。
- ・設問10：今後の市政発展のために、議員の質疑に対し望むものはどれですか？
更に学習して欲しい23名（35%）、学習して欲しい33名（51%）、現状でよい4名（6%）、回答なし7名（8%）と、学習要求が非常に高い結果であった。
- ・設問11：委員会を傍聴して議会に対し、感じたこと、気づいたこと、望むもの、その他等、自由に感想をご記入ください
記入者50名（77%）、未記入者15名（23%）であった。

2 所属別の回答結果

■職員に関する設問

- ・設問3：傍聴しての参考度
すごく参考になったが、企画部が60%、市民生活部50%と、やや参考度が高い結果であった。
- ・設問4：傍聴の必要性
すごく必要が、市民生活部20%、教育委員会20%、企画部20%と必要性が高く、どちらでもないが、都市建設部25%、市民生活部20%、必要ないが、市民生活部10%、保健福祉部8%、総務部7%の回答であった。
- ・設問5：答弁者としての参加意欲
すごく参加したいが、都市建設部、保健福祉部に8%の回答があり、参加したいは、企画部80%、総務部60%、市民生活部60%と非常に多い。どちらでもないが、都市計画部42%、教育委員会40%、保健福祉部31%とやや多く、参加したくないは、市民生活部10%、保健福祉部8%の回答であった。

■議会・議員に関する設問

- ・設問6：質疑の解りやすさ
とても解りやすいは全て0%であり、市民生活部が解りにくいが60%であり、都市建設部が25%、総務部20%の回答であった。解りやすいは企画部40%、教育委員会が30%であり、その他はどちらでもないが大半であった。
- ・設問7：質疑レベル
とても高いは全て0%。高いが企画部60%、教育委員会50%の回答であった。低い、都市建設部25%、総務部13%、市民生活部、教育委員会が10%であり、回答なしが市民生活部30%、教育委員会10%、保健福祉部8%、総務部7%であった。
- ・設問8：議員の事業理解度
よく理解できているは、全て0%。理解できているは、企画部、教育委員会がともに80%であり、保健福祉部77%、総務部67%、都市建設部50%、市民生活部40%であった。
理解できていないは、都市建設部50%、市民生活部40%、保健福祉部23%、総務部、企画部が共に20%であり、回答なしは市民生活部20%、総務部13%、教育委員会10%であった。
- ・設問9：決算審査になっていたか？
すごくになっていたは、全て0%、なっていたは、教育委員会が80%、保健福祉部が69%と高く、わからないは、都市建設部が67%、企画部が60%、総務部が40%、なっていないは、市民生活部が30%、総務部13%、都市建設部、保健福祉部は8%であった。
- ・設問10：議員の質疑に望むもの
更に学習して欲しいは、都市建設部が67%、総務部が47%、企画部が40%と高く、学習して欲しいは教育委員会が80%、市民生活部が60%、保健福祉部が54%、総務部、企画部ともに40%であった。現状でよいは、僅か企画部で20%、教育委員会は10%、保健福祉部8%、総務部7%であり、その他は回答なしであった。
- ・設問11：自由意見の回答率
回答率は、総務部が80%、都市建設部が67%、市民生活部が70%、保健福祉部が62%、教育委員会、企画部は100%であり、比較的高い回答率であった。

3 議員の評価分布

評価分布は、すごくよい、よい=よい。どちらでもない=普通。悪い、とても悪い=悪いと3段階評価で分布した。設問8の事業理解度はできていて当たり前のことから、できているを普通とした。決算審査度は、良いが50%、普通が39%、悪いが10.9%。質疑レベルは良いが22%、普通が66.1%、悪いが11.9%。質疑理解度は良いが18.8%、普通が59.4%、悪いが21.9%。学習希望度は、更に学習して欲しいが38.3%、学習して欲しいが55%、現状でよいが6.7%であった。事業理解度は、良いが0%、普通が70%、悪いが30%であった。総合評価では、良いが19%、普通が58%、悪いが23%であり、議会評価の控制度を考え厳しい評価をすれば、悪い結果であった。

4 各部署からの評価分布

議会への参加・研究意識の平均値が3.51と中心値より高く、全体的に参加・研究意識が高いと言える。議員の資質に対する要求度については、2.614と中心値よりやや高い。各部署からの評価分布は、参加・研究意識については、第1位の企画部3.80～第4位の市民生活部3.667までは、格差が無く非常に高く、教育委員会だけが2.40と数値が低く目立つ。議員の資質に対する要求度は、第1位の市民生活部2.905～第3位の都市建設部2.554と中心値より高く、教育委員会が2.323の数値が低い。

5 議会の参加意識における相関関係

設問3～5の相関関係は、設問3「傍聴しての参考度」と設問4「傍聴に必要性」は、相関係数0.5403、順位相関係数0.4410とやや高く、関係が強いと言える。設問3「傍聴しての参考度」と設問5「答弁者としての参加意欲」は相関係数0.3324、順位相関0.2846とやや低く、関係はやや弱い。設問4「傍聴の必要性」と設問5「答弁者としての参加意欲」は相関係数は0.3413とやや弱く相関関係は強くないが、順位相関係数は1.00と完全な正の相関であり、選択制は完全に一致している。

6 議会評価の設問における相関関係

議会評価の設問における相関関係は、設問7「質疑レベル」と設問10「議員の質疑に望むもの」の相関係数が0.6359と高く、「質疑のレベルを上げるため、学習を更にして欲しい」との強い関係が伺える。その他、設問7「質疑レベル」と設問8「議員の事業理解度」、設問9「決算審査度」は、0.432と0.39とやや関係が高く、「質疑のレベル」に関連する関係が深いことが伺える。その他の関係は特に高くはないことが分かる。

7 議会・議員の改善度

アンケート結果からの客観的な分析による改善度では、期待値を算出し、独立係数を求めて判断した。算出は独立係数が低くなれば改善が必要であるように算出している。図7-1に散布図にまとめたが、多くの因子が改善の必要がある。特に「議員の学習への希望」が非常に強く、次いで「事業理解度」である（独立係数順位は図表7-2を参照）。客観的事実を真摯に受け止める必要がある。

計算式 (例:設問6)	参考1
行列	期待度数
良い×良い	$\chi^2 = 5 \times 12 \div 64 = 0.938$
良い×普通	$\chi^2 = 49 \times 12 \div 64 = 9.188$
良い×悪い	$\chi^2 = 10 \times 12 \div 64 = 1.875$
良い×普通	$\chi^2 = 5 \times 38 \div 64 = 2.969$
普通×普通	$\chi^2 = 49 \times 38 \div 64 = 29.094$
悪い×普通	$\chi^2 = 10 \times 14 \div 64 = 10.719$
良い×悪い	$\chi^2 = 5 \times 14 \div 64 = 1.094$
普通×悪い	$\chi^2 = 49 \times 14 \div 64 = 10.719$
悪い×悪い	$\chi^2 = 10 \times 14 \div 64 = 2.188$

参考2
χ二乗値 (例:設問6)
$(4-0.938)^2/0.938 + (1-2.969)^2 + (0-1.094)^2 + (8-9.188)^2 + (34-29.094)^2 + (7-10.719)^2 + (0-1.875)^2 + (3-5.938)^2 + (7-2.188)^2 = 28.5903 = \chi^2$
参考3
独立係数 (例:設問6)
$\sqrt{28.5903/64 \times (3-1)} = 0.945$

8 設問 1 1 の自由意見における分布分析

設問 1 1 における自由意見は、多くの積極的かつ有意義なご意見をいただき、誠に有難うございました。

テキスト分析は、文章を要約し、因子別に分別を行い、質的データから量的データへの変換を行った。

分別は 8 分野（要約文と分別参照）に分け、分布表の作成と相関関係を求めた。意見分布では総務部の度数 40、都市建設部の度数 30、市民生活部の度数 18、保健福祉部の度数 29、教育委員会の度数 37、企画部の度数 22 に分別され、因子別では、質疑短所が 48、自身の学習が 42、傍聴関係が 38（図表 8-1 参照）と高い意見数であった。

相関関係（図表 8-3 参照）では企画部と総務部、教育委員会と市民生活部、企画部と保健福祉部の関係が比較的弱く、その他は相対的に強い関係性であることがわかった。

9 分散分析と多重比較検定

自由意見の比率分析から、一元配置による分散分析を求めた。一元配置の分散分析の判定では、全体評価で 99%以上の確率で、意見に有意差がある検定結果となったことから、多重比較検定を行った。多重比較では、因子全体で 28 パターンの組合せがある中で、11 パターンの組合せが、95%及び 99%以上の確率で有意差がある判定になり、確率により改善度順位（図表 9-4 参照）を計った。内容は、「質疑の短所」と「答弁の長所」が第 1 位であり、その他「質疑の短所」が絡む因子が上位を占め、質疑レベルの改善が早急に求められている意見であることが、明らかである。

10 クラスタ分析（類似度と距離）

クラスタ分析では、因子同士の類似性と、位置する距離を測ることから意見の強さの傾向を計った。因子 A（意見の要因別）では、グループ分けをすると「傍聴してよかった」「質疑の短所」「自身の学習が必要」が第 1 グループに分けられ、その中でも「自身の学習が必要」の意見の強さが伺える。第 2 グループでは、「質疑の長所」「答弁の長所」が非常に近く、次いで「要望」「答弁の短所」「雰囲気」の順に近い。第 2 グループは全体的に近い傾向にあり、第 1 グループと第 2 グループの距離が非常に離れていることから、意見に大きな格差があることが分かる。上記の分析の参考からも、議会に対しては質疑のレベルの改善に対し強い意見が多く、職員（係長）では、自己の学習を行いたい意見が強いことが分かる。

次に部署別の意見に対する類似度と距離だが、大きく分けると 4 つのグループに分かれる。第 1 グループは、都市建設部と保健福祉部の意見が非常に近い。第 2 グループは市民生活部と企画部の意見が近く、第 3 グループとは言わないが、単独として総務部と教育委員会が他との距離がある。全体的には、距離も離れていなく、近い傾向ではあるが、「総務部」「都市建設部」「保健福祉部」「教育委員会」のグループと、「市民生活部」「企画部」のグループの距離があることが分かる。

11 まとめ

職員（係長）である実務の第一人者の方からのアンケート調査は、非常に有意義なものであった。

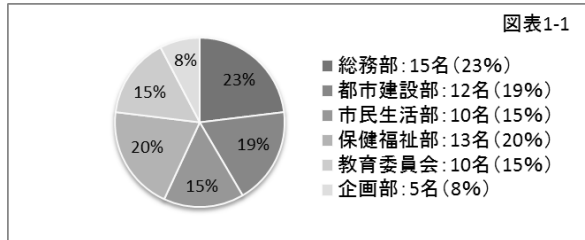
特に議会の評価に対するアンケートにおいては、制御性からゆるい評価が目立ったが、「学習希望度」との対比や、全体分布から控えめであったことが理解できた。更に、自由意見においては率直なご意見をいただき、アンケートの回答との乖離性からも、補正を考えた評価を行うことができた。また職員（係長）皆さんの積極性や学習を望む傾向が強いことも理解でき、香芝市の更なる発展を感じることが出来た。

議会・議員各位では、皆さんから戴いたご意見を率直に受け止め、特に議員の学習不足を無くし、質疑のレベルを大幅に引き上げるために、個々が強く自覚し、政務調査費の活用と効果の検証を強く求め、日々の学習に研鑽しなければならぬことを真摯に受け止める必要性があることが理解できた。

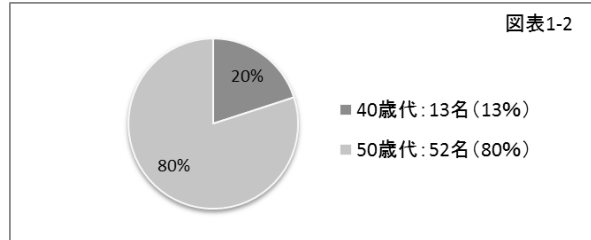
アンケート集計結果・資料編

1 アンケート結果：全体

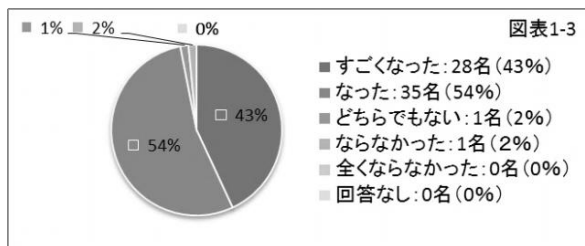
■設問 1：所属



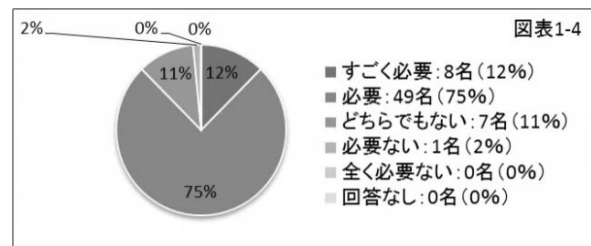
■設問 2：年齢



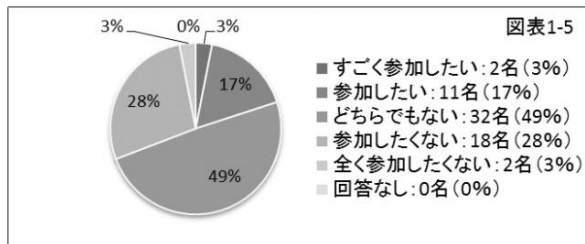
■設問 3：決算特別委員会を傍聴して、自分自身に参考になりましたか？



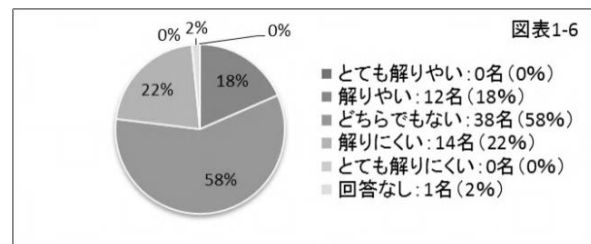
■設問 4：傍聴する機会は必要だと思いますか？



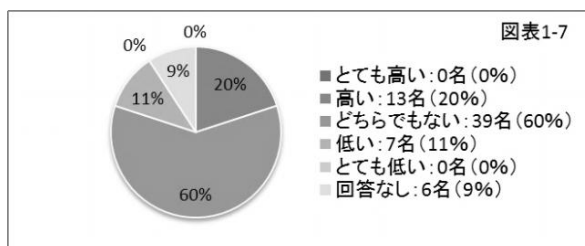
■設問 5：将来、答弁者として参加したいと思いませんか？



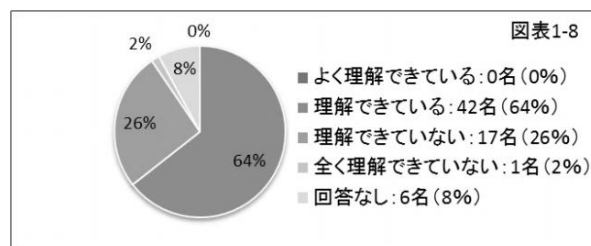
■設問 6：議員の質疑は解りやすかったですか？



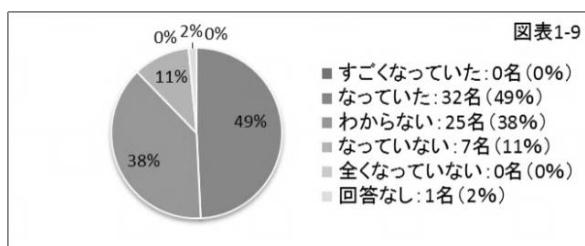
■設問 7：質疑のレベルは如何でしたか？



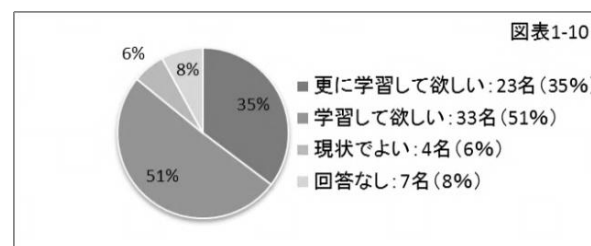
■設問 8：議員の質疑を聞いて、市の事業への理解度はどのように感じましたか？



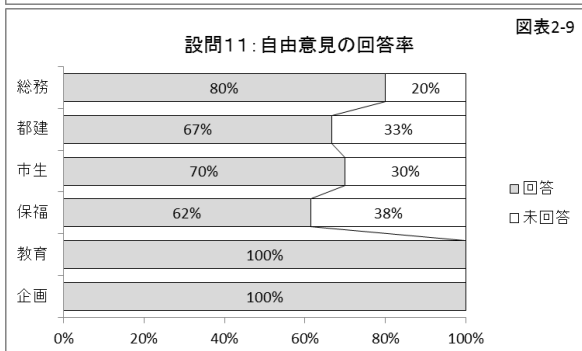
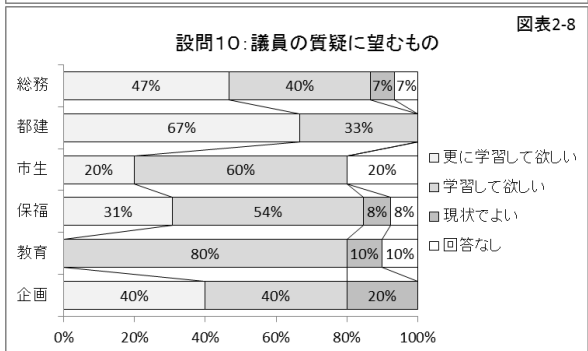
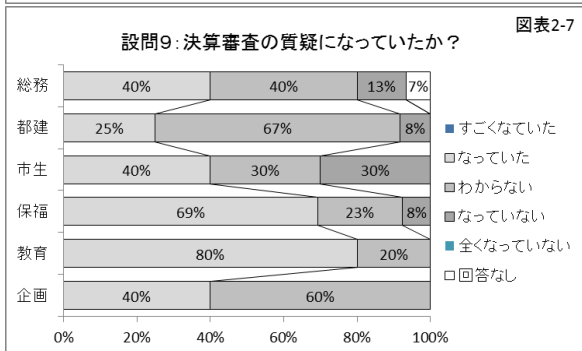
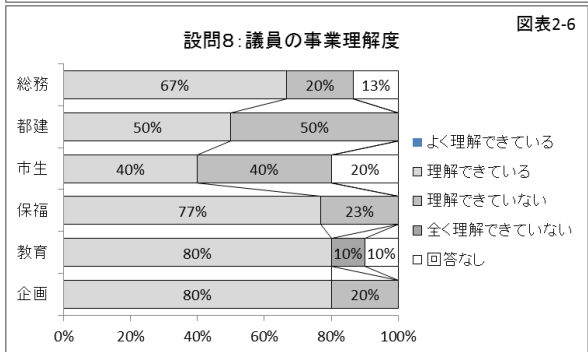
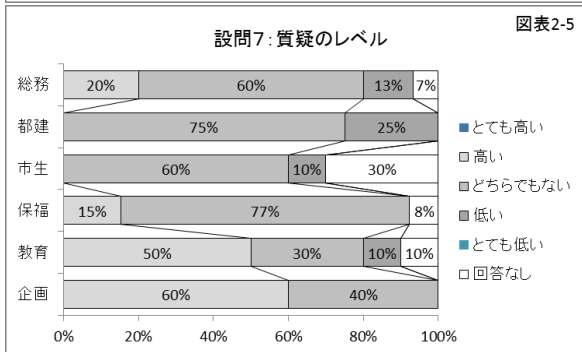
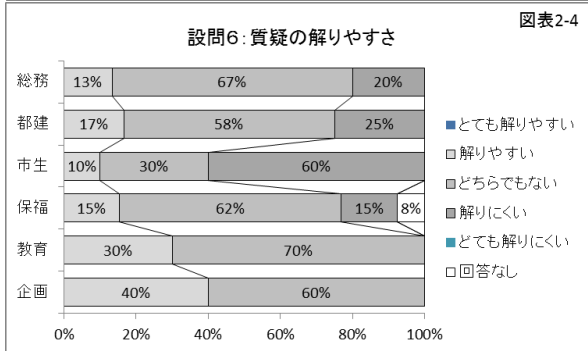
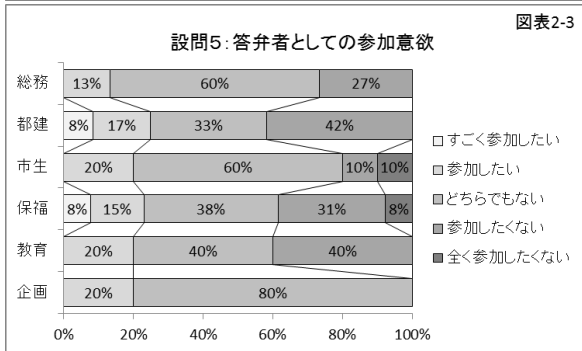
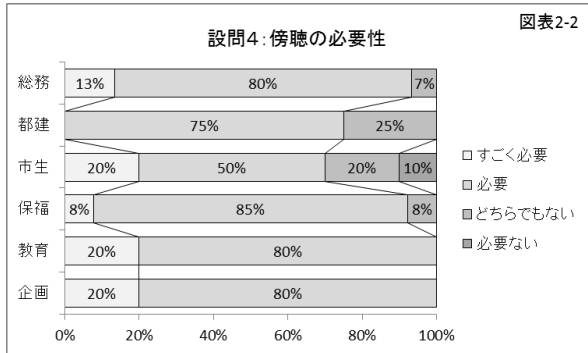
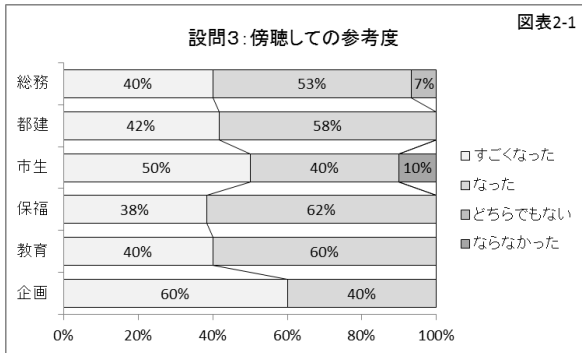
■設問 9：決算審査の質疑になっていましたか？



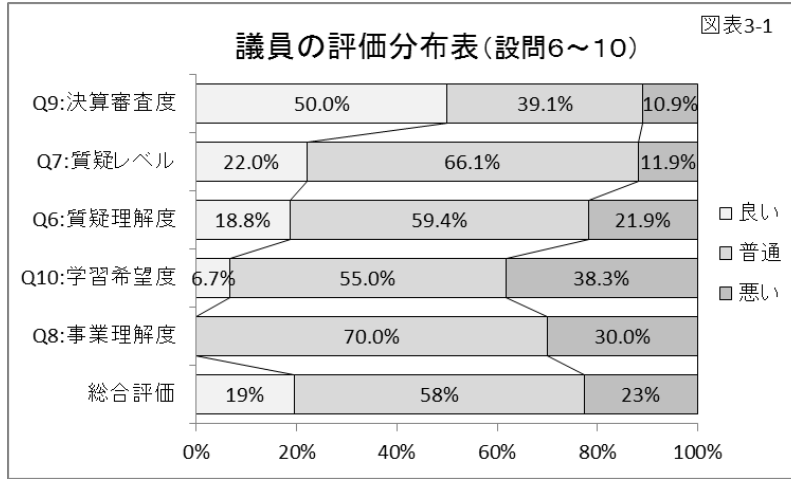
■設問 10：今後の市政発展のために、議員の質疑に対し、望むのはどれですか？



2 所属別の回答結果



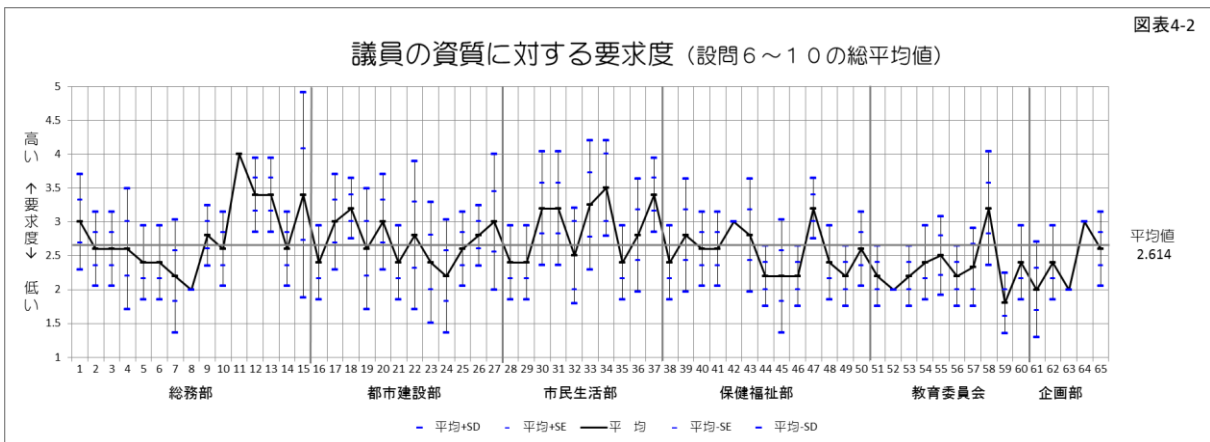
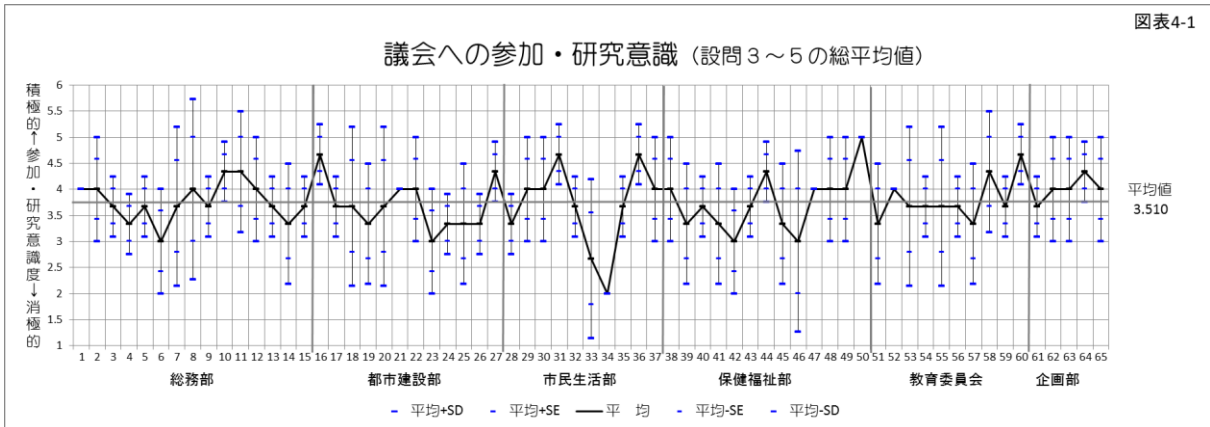
3 議員の評価分布



図表3-2

評価	良い	普通	悪い	計
総合評価	19%	58%	23%	100%
Q8:事業理解度	0.0%	70.0%	30.0%	100%
Q10:学習希望度	6.7%	55.0%	38.3%	100%
Q6:質疑理解度	18.8%	59.4%	21.9%	100%
Q7:質疑レベル	22.0%	66.1%	11.9%	100%
Q9:決算審査度	50.0%	39.1%	10.9%	100%

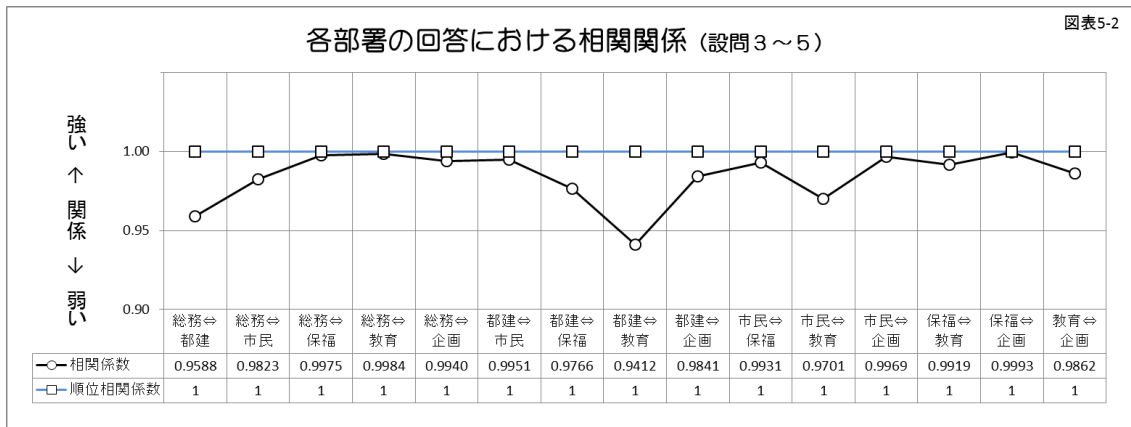
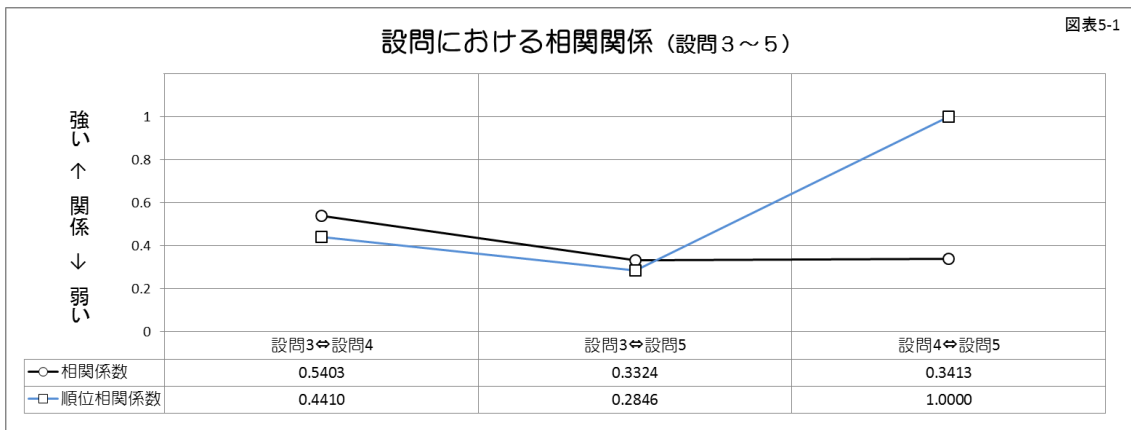
4 各部署からの評価分布



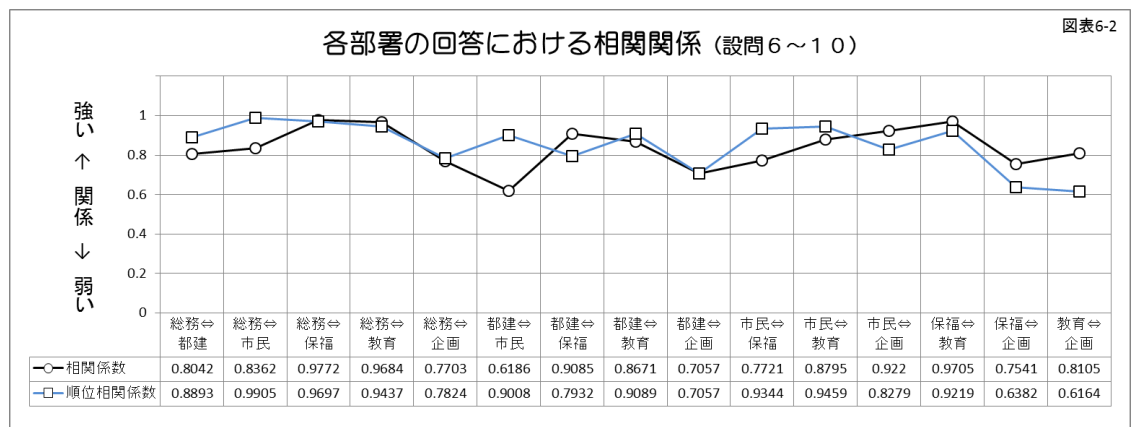
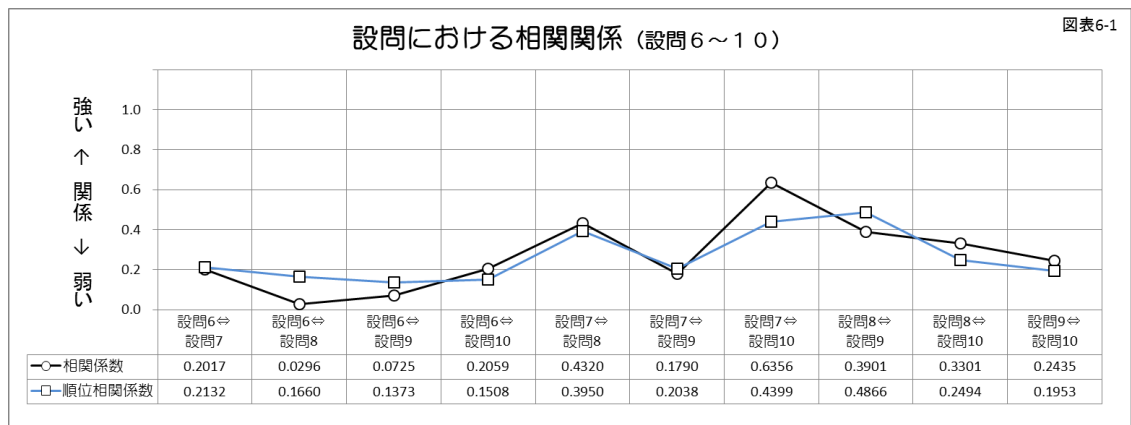
図表4-3 平均値分布表(評価順位1~5・高い⇔低い)

各部署の評価順位	1	2	3	4	5	6	平均
議会への参加 研究意識	企画部 3.800	総務部 3.756	保健福祉部 3.744	都市建設部 3.694	市民生活部 3.667	教育委員会 2.400	3.510
議員の資質に対する要求度	市民生活部 2.905	総務部 2.800	都市建設部 2.700	保健福祉部 2.554	企画部 2.400	教育委員会 2.323	2.614

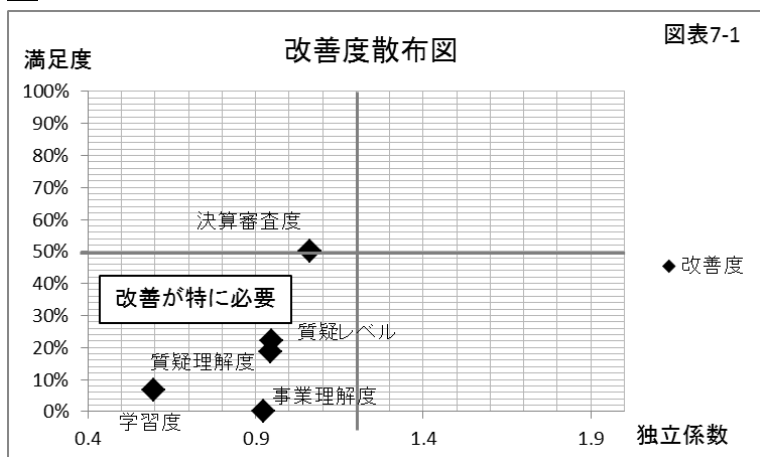
5 議会の参加意識における相関関係



6 議会評価の設問における相関関係



7 議会・議員の改善度



図表7-2

改善度順位	独立係数	満足度
学習希望度(Q10)	0.597	6.7%
事業理解度(Q8)	0.922	0.0%
質疑理解度(Q6)	0.945	18.8%
質疑レベル(Q7)	0.947	22.0%
決算審査度(Q9)	1.061	50.0%

設問6 図表7-3

評価	全体	良い	普通	悪い
全体	64 100%	12 18.8%	38 59.4%	14 21.9%
良い	5 7.8%	4 6.3%	1 1.6%	0 0.0%
期待度数	---	0.938	2.969	1.094
普通	49 76.6%	8 12.5%	34 53.1%	7 10.9%
期待度数	---	9.188	29.094	10.719
悪い	10 15.6%	0 0.0%	3 4.7%	7 10.9%
期待度数	---	1.875	5.938	2.188
総合評価	※χ 二乗値=28.5903、独立係数=0.945			

設問7 図表7-4

評価	全体	良い	普通	悪い
全体	59 100%	13 22.0%	39 66.1%	7 11.9%
良い	5 8.5%	5 8.5%	0 0.0%	0 0.0%
期待度数	---	1.102	3.305	0.593
普通	47 79.7%	8 13.6%	35 59.3%	4 6.8%
期待度数	---	10.356	31.068	5.576
悪い	7 11.9%	0 0.0%	4 6.8%	3 5.1%
期待度数	---	1.542	4.627	0.831
総合評価	※χ 二乗値=26.4661、独立係数=0.947			

設問8 図表7-5

評価	全体	良い	普通	悪い
全体	60 100%	0 0.0%	42 70.0%	18 30.0%
良い	5 8.3%	0 0.0%	5 8.3%	0 0.0%
期待度数	---	0.000	3.500	1.500
普通	46 76.7%	0 0.0%	37 61.7%	9 15.0%
期待度数	---	0.000	32.200	13.800
悪い	9 15.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 15.0%
期待度数	---	0.000	6.300	2.700
総合評価	※χ 二乗値=25.5280、独立係数=0.922			

設問9 図表7-6

評価	全体	良い	普通	悪い
全体	64 100%	32 50.0%	25 39.1%	7 10.9%
良い	5 7.8%	5 7.8%	0 0.0%	0 0.0%
期待度数	---	250.0%	195.3%	54.7%
普通	49 76.6%	27 42.2%	21 32.8%	1 1.6%
期待度数	---	2450.0%	1914.1%	535.9%
悪い	10 15.6%	0 0.0%	4 6.3%	6 9.4%
期待度数	---	5.000	3.906	1.094
総合評価	※χ 二乗値=35.9920、独立係数=1.061			

設問10 図表7-7

評価	全体	良い	普通	悪い
全体	60 100%	7 11.7%	37 61.7%	16 26.7%
良い	5 8.3%	2 3.3%	3 5.0%	0 0.0%
期待度数	---	0.583	3.083	1.333
普通	47 78.3%	5 8.3%	31 51.7%	11 18.3%
期待度数	---	5.483	28.983	12.533
悪い	8 13.3%	0 0.0%	3 5.0%	5 8.3%
期待度数	---	93.3%	493.3%	213.3%
期待度数	---	5.000	3.906	1.094
総合評価	※χ 二乗値=10.6896、独立係数=0.597			

8 設問 1 1 の自由意見における分布分析

意見分別表

図表8-1

因子	総務部		都市建設部		市民生活部		保健福祉部		教育委員会		企画部		合計	
	度数	総務%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
傍聴関係	8	21.1%	6	15.8%	3	7.9%	8	21.1%	11	28.9%	2	5.3%	38	21.0%
質疑の短所	10	20.8%	9	18.8%	6	12.5%	11	22.9%	6	12.5%	6	12.5%	48	26.5%
質疑の長所	3	30.0%	2	20.0%	1	10.0%	2	20.0%	1	10.0%	1	10.0%	10	5.5%
答弁の短所	3	20.0%	5	33.3%	0	0.0%	3	20.0%	4	26.7%	0	0.0%	15	8.3%
答弁の長所	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%	4	2.2%
自身の学習	4	9.5%	7	16.7%	3	7.1%	3	7.1%	10	23.8%	10	23.8%	42	23.2%
雰囲気	8	57.1%	0	0.0%	2	14.3%	1	7.1%	3	21.4%	0	0.0%	14	7.7%
要望	2	20.0%	1	10.0%	3	30.0%	1	10.0%	0	0.0%	3	30.0%	10	5.5%
計	40	22%	30	17%	18	10%	29	16%	37	20%	22	12%	181	100%

■自由意見の要約文と分別

◇傍聴

- 1・傍聴して勉強になった。
- 2・ネット中継により傍聴の機会を増して欲しい。
- 3・委員会の様子を直に感じ、勉強になった。
- 4・他の委員会の傍聴も必要。
- 5・今後の業務を考えるうえで勉強になった。
- 6・一般職員も交代で傍聴させるべき。
- 7・他の研修よりも緊張感があり勉強になった。
- 8・初めての経験で緊張した。
- 9・傍聴は有意義で勉強になった。
- 10・傍聴は非常に良い経験になった。
- 11・全ての委員会の傍聴もしたい。
- 12・開かれた議会は良いと感じた。
- 13・良い体験ができた。
- 14・普段見れない議会の傍聴できてよかった。
- 15・予算委員会も傍聴したい。
- 16・傍聴の機会は勉強になった。
- 17・研修は係長以外に、職員全員受けることが有意義と思えた。
- 18・5年に一度は受けた研修である。
- 19・貴重な傍聴の機会を得た。
- 20・非常に良い経験ができた。
- 21・土日開催で市民が傍聴に参加でき有意義であった。
- 22・傍聴して勉強になった。
- 23・予算委員会を傍聴したい。
- 24・良い研修であった。
- 25・傍聴して有意義であった。
- 26・傍聴して香芝市のために精進しようと思った。
- 27・議事進行、質疑、答弁、採決の内容を知ることが出来た。
- 28・今後の答弁等の貴重な勉強になった。
- 29・今後も傍聴の機会が必要。
- 30・傍聴が新鮮であった。
- 31・今回のような傍聴を継続する価値あり。
- 32・有用な機会であった。
- 33・その他の委員会の傍聴が必要。
- 34・傍聴で2日間は長かった。
- 35・任意参加で職員のやる気を計ると良い。
- 36・決算資料も持たずに参加している係長には残念。
- 37・議事進行中に、団扇を仰ぐ姿には残念。
- 38・適切な議事進行であった。

◇質疑の長所

- 1・中長期的視点の質疑があった。
- 2・質疑の結果検証、評価と改善課題に感心した。
- 3・質疑の結果検証、評価と改善課題に感心した。
- 4・一部の質疑レベルが高く驚いた。
- 5・ハイレベルな審議には、手に汗を握った。
- 6・各種事業等に深く学習していた。
- 7・鋭い質疑には感服した。
- 8・質疑が解りやすい人がいた。
- 9・ハイレベルの質疑には議会の必要性を感じた。
- 10・職員以上に精通した質疑があった。

◇質疑の短所

- 1・質疑を簡潔にすべきである。
- 2・回りくどい質疑はわかりにくい。
- 3・事業内容や字句の説明を求める場でない。
- 4・日頃の勉強が必要と実感した。
- 5・決算審査に程遠い質疑が多くあった。
- 6・無駄な質疑を除き、審議時間の有効利用が必要。
- 7・事業の継続性の審査が必要。
- 8・質疑が不明。
- 9・質疑内容に格差がある。
- 10・数字の確認だけの質疑は工夫が必要。
- 11・質疑内容に格差がある。
- 12・質疑内容で多くの考えがある。
- 13・議員の勉強度の格差が大きい。
- 14・質疑の説明度に格差がある。
- 15・わかりにくい質疑に大変苦労していた。
- 16・何を聞いているかわからない質疑は疑問に思った。
- 17・決算審査と関係のない質疑があった。
- 18・質疑で掘り下げても、質疑目的が分からないものが疑問。
- 19・決算審査について更に学習が必要と思った。
- 20・予算と比較する質疑があればよかった。
- 21・質疑する項目の移り変わりが大きい。
- 22・質疑が節に対するものが大半であった。
- 23・予算の審議のような質疑が疑問に思った。
- 24・昨年の決算と比較するだけの質疑は疑問に感じた。
- 25・予算をベースにした質疑ではなかった。
- 26・一部の議員を省き、半数以上が形式的な質疑であった。
- 27・決算と関係ない質疑が見受けられた。
- 28・一問一答で終わる審議は疑問。
- 29・要望でなく政策を審議して欲しい。
- 30・無意味な質疑は疑問。
- 31・質疑の内容がわかりにくい。
- 32・質疑で何が言いたいかわかりにくい人がいた。
- 33・回りくどい質疑があり、簡潔にして欲しい。
- 34・答弁の文言の揚げ足を取り、注意されて良かった。
- 35・質疑は疑義を正すことが重要と思った。
- 36・決算審査では予算執行の適正度、成果、効果の内部検証が必要。
- 37・質疑内容に格差がある。
- 38・大半の質疑はもっと深く、詳しく行うべき。
- 39・質疑は今後の展望を持つ具体性が必要。
- 40・質疑内容が甘い。
- 41・質疑行為をただ行っているだけの質疑が見受けられた。
- 42・実際の質疑を聞いて想像していたものと異なった。
- 43・質疑は支出内容、契約、実績が主と思っていたが違った。
- 44・質疑の内容の範囲は、想像より幅が広い。
- 45・質疑の内容が単に数字の確認に終わっていた。
- 46・質疑内容に大きな差を感じた。
- 47・質疑、答弁とも個人能力の差が大きく複雑な思い。
- 48・質疑に傍聴者が分からないと帰宅した。

◇答弁の長所

- 1・答弁の大変さを伺えた。
- 2・質疑に敏速に対応できていたことに評価できる。
- 3・質疑に対し内容を敏感に聞き取る。
- 4・答弁は即座に回答する。

◇答弁の短所

- 1・質疑と答弁がちぐはぐ。
- 2・質疑と答弁がちぐはぐ。
- 3・質疑と答弁がちぐはぐ。
- 4・質疑と答弁がちぐはぐ。
- 5・質疑と答弁がちぐはぐ。
- 6・答弁に当を得ないものが疑問。
- 7・質疑内容に関係なく、用意した原稿を読む答弁が疑問。
- 8・答弁に物足りないものがあった。
- 9・市民傍聴者から、なぜ反問権を使わないかと意見があった。
- 10・単純明快な質問に、答弁できず恥ずかしく思った。
- 11・執行における内部検証を答弁することが責務。
- 12・答弁は明確に大きな声でなくてはならない。
- 13・明確な答弁でないと委員会が中断する。
- 14・答弁で声の高さ、大きさ、姿勢の良し悪しの格差があった。
- 15・答弁で表現の違い、誤解等が多々あると思った。

◇自身の学習

- 1・業務に生かしたい。
- 2・現場が大切である発言に気持ちを変えた。
- 3・今後の業務取組の参考になった。
- 4・部課長の立場に立って考えることが出来た。
- 5・他の事業内容が勉強になった。
- 6・他の事業内容が勉強になった。
- 7・業務の内容と再考が必要と感じた。
- 8・他の科目が勉強できた。
- 9・基金や交際費の重要性を認識できた。
- 10・理事者の鋭意研究が必要。
- 11・自分が答弁するとなると悲惨な結果になると思った。
- 12・課長に提出する議会資料の再考が出来た。
- 13・職員も自ら研鑽する必要があると感じた。
- 14・質疑内容が理解できず、勉強不足を感じた。
- 15・他の業務が勉強になった。
- 16・答弁内容は業務の積み重ねと感じた。
- 17・委員会議事進行と雰囲気理解できた。
- 18・自身のスキルアップになった。
- 19・質問と質疑の違いを理解でき勉強になった。
- 20・審議内容から、なにが大切かが理解できた。
- 21・予算執行が市民の血税であることに気付き、恥ずかしく思えた。
- 22・議事進行が勉強になった。
- 23・普段から幅広く業務内容の把握が必要。
- 24・答弁はかなり勉強が必要と感じた。
- 25・心理的には立ちたくない場所。
- 26・機会を見つけ勉強したいと思った。
- 27・予算の成り立ちが解らなく、情けなく思った。
- 28・自身の勉強不足を痛感した。
- 29・財政の仕組、現状、健全化判断比率の知識が必要と痛感した。
- 30・業務は分析をした中での遂行が必要かつ重要と気づいた。
- 31・議会の議事進行が勉強になった。
- 32・財政用語の意味が解らなかつた。
- 33・業務の位置づけと財政関係の視点が必要と感じた。
- 34・自己の知識不足を認識したことが収穫。
- 35・自身の勉強不足を痛感した。
- 36・質疑、答弁内容が理解できない部分があった。
- 37・財政用語の理解できない部分があった。
- 38・審議の向上に参考資料の作成に工夫が必要と思った。
- 39・自身の知識の無さを痛感し、不安等で身が引き締まった。
- 40・自身の知識不足を痛感した。
- 41・自身の一層努力が必要と確認できた。
- 42・結果重視の視点から、決算の認定は重要と感じた。

◇雰囲気

- 1・雰囲気を感じ取れた。
- 2・雰囲気を感じ取れた。
- 3・厳格な雰囲気を感じた。
- 4・緊張感があった。
- 5・緊張感を感じた。
- 6・緊張感を感じた。
- 7・緊張した。
- 8・緊張感を感じた。
- 9・異様な雰囲気だと感じた。
- 10・緊張感があった。
- 11・聞いているだけで緊張した。
- 12・緊張した雰囲気であった。
- 13・緊張感があった。
- 14・緊迫した空気の中での議事進行に驚いた。

◇要望

- 1・議員と職員が協力する必要がある。
- 2・議会が本市発展の為、活発な活動を進めてほしい。
- 3・議会と理事者とも、本市発展の気持ちで臨んでほしい。
- 4・行政の年間活動内容の資質面の検証が必要。
- 5・結果から新年度事業への反映が必要。
- 6・議員・職員が共に価値の高い仕事の選択の強い意識が必要。
- 7・款ごとの審査でなく、目ごとの審査の方がよい。
- 8・款ごとの審査でなく、目ごとの審査の方がよい。
- 9・市民傍聴者の資料不足から理解が困難。
- 10・音響設備に不備があり、審議が聞きづらかつた。

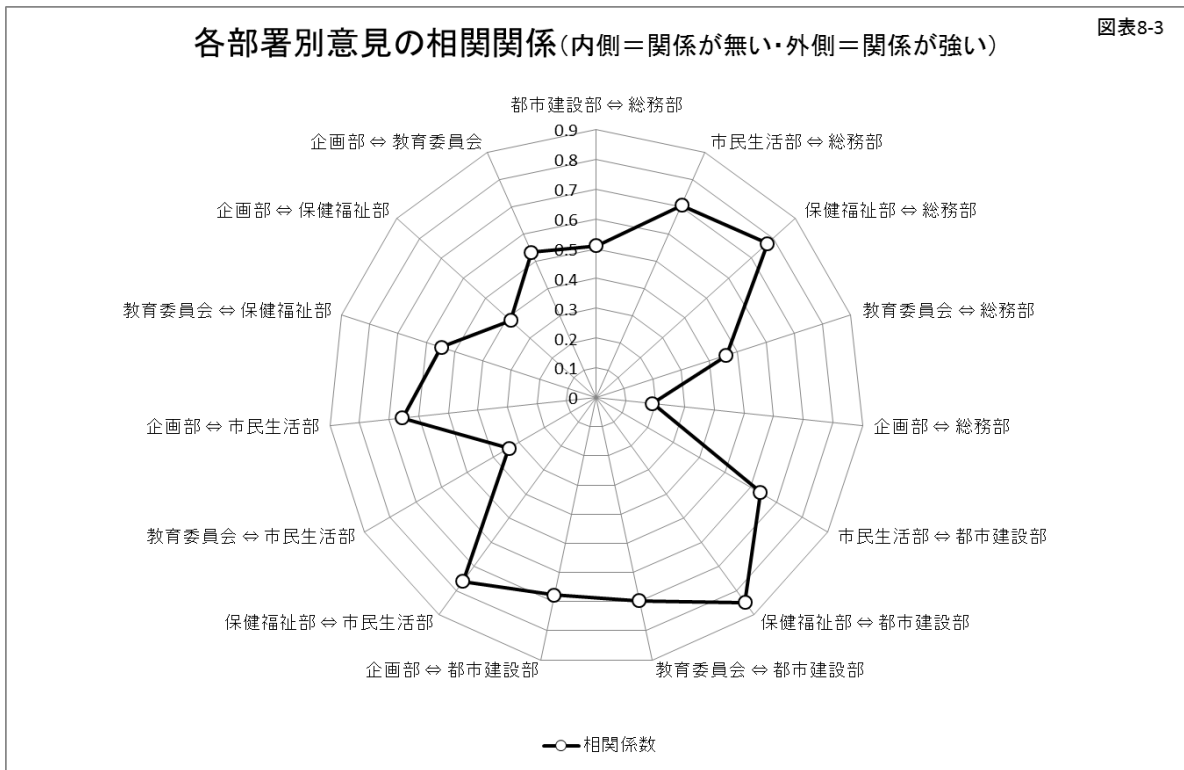
各部署別意見の相関関係

図表8-2

部署	都市建設部	市民生活部	保健福祉部	教育委員会	企画部	都市建設部	保健福祉部	教育委員会	企画部	保健福祉部	教育委員会	企画部	教育委員会	企画部	企画部
	総務部	総務部	総務部	総務部	総務部	都市建設部	都市建設部	都市建設部	都市建設部	市民生活部	市民生活部	市民生活部	保健福祉部	保健福祉部	教育委員会
相関係数	0.5101	0.7066	0.7740	0.4590	0.1895	0.6365	0.8509	0.6970	0.6767	0.7624	0.3393	0.6551	0.5468	0.3863	0.5346

各部署別意見の相関関係(内側=関係が無い・外側=関係が強い)

図表8-3



9 分散分析と多重比較検定

基本統計量

図表9-1

因子A	n	平均	標準偏差 (SD)	平均-SD	平均+SD	標準誤差 (SE)	平均-SE	平均+SE
傍聴関係	6	6.333	3.386	2.947	9.720	1.382	4.951	7.716
質疑の短所	6	7.833	2.483	5.350	10.317	1.014	6.820	8.847
質疑の長所	6	1.667	0.816	0.850	2.483	0.333	1.333	2.000
答弁の短所	6	2.500	2.074	0.426	4.574	0.847	1.653	3.347
答弁の長所	6	0.667	1.033	-0.366	1.699	0.422	0.245	1.088
自身の学習	6	6.167	3.312	2.855	9.478	1.352	4.815	7.519
雰囲気	6	2.333	3.011	-0.678	5.344	1.229	1.104	3.563
要望	6	1.667	1.211	0.456	2.878	0.494	1.172	2.161

一元配置分散分析

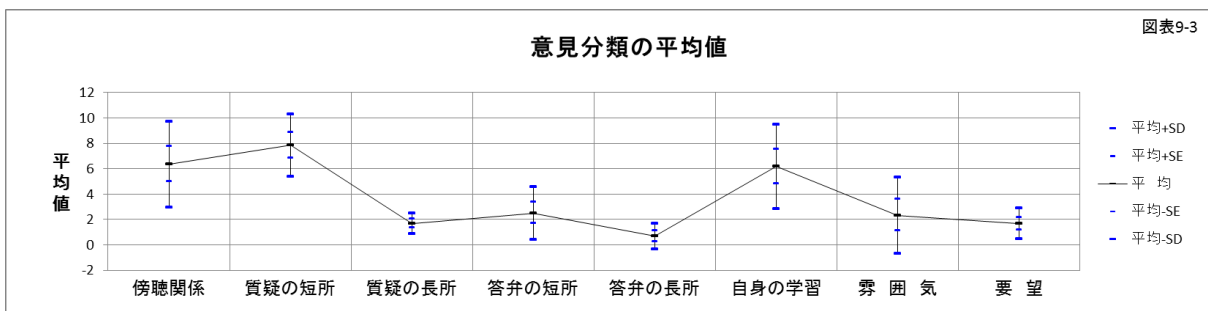
図表9-2

因子	平方和	自由度	平均平方	F 値	P 値	判定
因子A	305.1458	7	43.5923	7.7211	0.0000	**
誤差	225.8333	40	5.6458			
全体	530.9792	47				

※:**:99%以上の確率で有意差あり、*:95%以上の確率で有意差あり

意見分類の平均値

図表9-3



多重比較検定:有意差95%以上の確率を抽出

図表9-4

改善度 順位	水準1	水準2	平均値 1	平均値 2	差	統計量	P 値	判定	備考
1	質疑の短所	答弁の長所	7.83	0.67	7.17	5.22	0.0001	**	・答弁の長所に比べ質疑の短所があまりにも多すぎる
2	質疑の短所	質疑の長所	7.83	1.67	6.17	4.50	0.0014	**	・質疑の長所に比べ短所があまりにも多すぎる
3	質疑の短所	要望	7.83	1.67	6.17	4.50	0.0014	**	・質疑の短所があまりにも多いが要望が少ない
4	傍聴関係	答弁の長所	6.33	0.67	5.67	4.13	0.0041	**	・傍聴が参考になった割には答弁の長所が低すぎる
5	質疑の短所	雰囲気	7.83	2.33	5.50	4.01	0.0058	**	・緊張感があつた割には質疑の短所があまりにも多すぎる
6	答弁の長所	自身の学習	0.67	6.17	5.50	4.01	0.0058	**	・答弁の長所が少ない割には自己学習希望が多い
7	質疑の短所	答弁の短所	7.83	2.50	5.33	3.89	0.0081	**	・答弁の短所に比べ質疑の短所があまりにも多すぎる
8	傍聴関係	質疑の長所	6.33	1.67	4.67	3.40	0.0300	*	・傍聴が参考になった割には質疑の長所が低すぎる
9	傍聴関係	要望	6.33	1.67	4.67	3.40	0.0300	*	・傍聴が参考になった割には要望が少ない
10	質疑の長所	自身の学習	1.67	6.17	4.50	3.28	0.0407	*	・質疑の長所が少ない割には自己学習希望が多い
11	自身の学習	要望	6.17	1.67	4.50	3.28	0.0407	*	・自己学習希望が多い割には要望が少ない

※・手法=Tukey **・99%以上の確率で有意差あり、*・95%以上の確率で有意差あり

10 クラスタ分析 (類似度と距離)

ユークリッドの距離

図表10-1

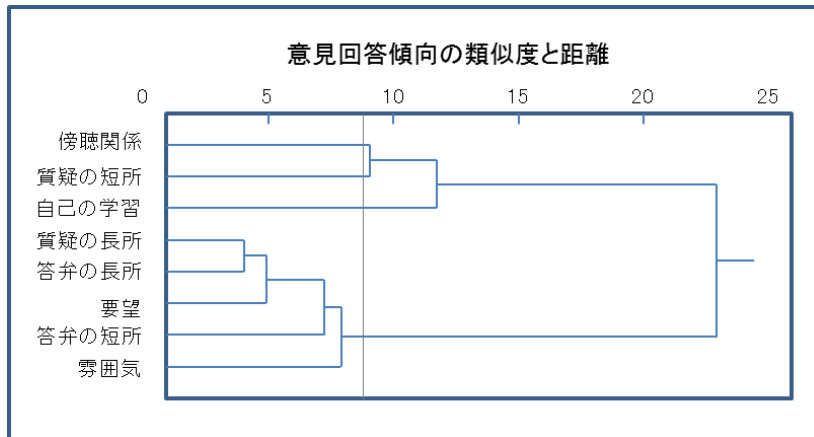
因子A	傍聴関係	傍聴関係	傍聴関係	傍聴関係	傍聴関係	傍聴関係	傍聴関係	傍聴関係	質疑の短所	質疑の短所	質疑の短所	質疑の短所	質疑の短所	質疑の長所	
距離	9.110	13.491	10.630	15.166	10.344	12.410	15.232	15.652	14.213	18.628	12.410	15.524	16.462	4.583	
因子A	質疑の長所	質疑の長所	質疑の長所	質疑の長所	答弁の短所	答弁の短所	答弁の短所	答弁の短所	答弁の短所	答弁の長所	答弁の長所	答弁の長所	自身の学習	自身の学習	雰囲気
距離	3.464	13.892	6.000	3.464	6.245	12.247	7.681	7.416	15.330	6.481	4.899	14.799	13.892	7.483	

ユークリッドの距離

図表10-2

因子B	総務部	総務部	総務部	総務部	総務部	都市建設部	都市建設部	都市建設部	都市建設部	都市建設部	市民生活部	市民生活部	市民生活部	保健福祉部	保健福祉部	教育委員会
距離	9.381	9.798	7.550	9.747	13.038	8.246	5.385	7.681	8.000	8.062	11.958	7.348	9.695	11.180	10.909	

図表 10-3



図表 10-4

